会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（ひばりが丘自治会）
2　日時	平成30年8月25日（土）10：00～11：30
3　場所	小桜町防災倉庫
4　出席者	（資源循環課）森岡担当主査、永井主任 （環境事業センター）安齋担当主査、加茂主任 （ひばりが丘自治会）参加人数：6人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。 ●茅ヶ崎市の年間のごみの排出量が今後減少していく見込みであるが、これはなぜか。 →茅ヶ崎市の人口が今後減少していくので、それに伴うものである。 ●自宅の敷地内が集積場所になっており、平均以上のごみが集められるが、家族の考えもあり、コミュニティの場としても利用してもらっている。そのため、ステーション方式は継続してもらいたい。一方で、不適切な排出が多いため、市は啓発を今以上に進めていくべきかと思う。 →ご意見として受け賜る。 ●戸別収集のデメリットにコミュニティの希薄化があるが、集積場所の管理が利用者の協力でうまくいっている所は、そのとおりだが、集積場所の管理がうまくいっていない所は、集積場所が関係性を悪化させている。 →このデメリットについては賛否両論があり、地域によって様々なご意見がある。藤沢市では、戸別収集とステーション収集を併用しており、現在は戸別収集が多くを占めている。 ●違う地域の人が捨てるごみが多いため、戸別収集は賛成である。啓発活動にも限界があるかと思う。有料化にすることが不摘出排出の一番の対策かと思う。 →市の広報媒体をご覧になる機会がない方等にどう啓発していくのかが、課題であると考えている。 ●有料袋の販売経費はこんなにもかかるのか。 →袋の作成料のみでなく、販売手数料、配送費など様々な経費がある。ここは、削減できる余地があるため、より良い方法を考えていきたい。 以上